

新潟県 看護協会だより

第137号
平成30年11月20日発行



取材協力 新潟県立新発田病院 P 8

平成30年7月26日
～8月24日

高校生1日看護師
体験が行われました

CONTENTS

会長あいさつ	2
支部紹介	3～5
地域包括ケア	6～7
高校生1日看護師体験	8
大学院社会人募集	9
ナースセンターからのお知らせ	10～11
お知らせコーナー	12

発行 公益社団法人 新潟県看護協会
新潟市中央区川岸町2丁目11番地
☎ 025-233-6550
FAX 025-266-1199
<https://www.niigata-kango.com/>
編集 広報委員会



新潟白根総合病院 内科病棟

「みんなでなかよく
働いています。」

会長あいさつ



公益社団法人新潟県看護協会
会長 奥村 麗子

会員の皆さんには、普段よりお忙しい業務の中、協会活動に対し多大なるご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。新年度から半年過ぎ、今年度事業は順調に推移し、会員数も11月10日時点での昨年同時期との比較で524名の増加となりました。今年度目標としておりました15,900人を超える16,158人に達しております。会員拡大は今後の事業拡大にも結びついていきます。今後も皆様のご支援をいただきながら、積極的に関わっていきますのでよろしくお願い申し上げます。

2018年緩和ケア認定看護師認定審査結果について新潟県では、全国を上回る合格率で23名の方が合格されました。初めての事業でその結果を心配しておりましたが、まずはほっとすると共に各施設での活躍が期待されます。今年度は緩和ケア認定看護師教育課程2年目を迎え、受講生は20名で、9月18日に開講式を終えました。徐々に環境にも慣れ、真剣に課題と向き合う姿が頗もしく映ります。

今年度から開始した訪問看護教育体制整備事業は、教育体制の充実と訪問看護従事者の確保・定着を促進するため、訪問看護従事者（新任者等）に対して現地での育成支援等を行うものです。すでに7件の申込みをいただき実施いたしました。現地の皆さんからは大変高い評価をいただいております。

ナースセンター事業につきましては、地域に必要な看護職の確保のため相談窓口無料紹介を上越、南魚沼、柏崎の3箇所に展開しています。今年度より上越は、就職紹介ができるナースセンターの支所として拡充いたしました。さらに南魚沼相談窓口につきましては、11月7日より人の交流が多く利便性の高い六日町駅前ショッピングセンターララの「南魚沼市図書館」内へ移転いたしました。就業を考える看護職の皆さんにご利用いただきたいと思います。

ご案内

ナースセンターの相談窓口(南魚沼)

開設日 毎週水曜日

活動内容

1. 就職相談
 - ① 希望の職場を探したい！
 - ② 再就職したいけど不安 等
2. ハローワークとの連携
3. 移動相談
4. 地域内における看護部長連絡会議
5. 地区内のイベント協力
 - ① 再就職支援セミナー
 - ② 県内の看護職確保に向けた情報共有



南魚沼市図書館外観

あなたの街で相談サポート
新潟県ナースセンター
(看護師等無料職業紹介所)
南魚沼相談窓口を移転します



どうぞお気軽に
ご相談ください。



支部の活動紹介

村上支部長 柴田百合子

村上

6月16日（土）に支部集会を行い、集会後の講演会では水科江利子先生から「心と体のセルフメンテナンス」をテーマに輝く心と体と思考の作り方について学ぶことができました。参加者の満足度が高く再講演を望む意見が多数寄せられました。

9月22日（土）は地域の看護専門学校の学校祭に出店し、血管年齢の測定、健康相談等を実施しました。地域の方々が大勢来場され、健康への関心の高さを感じる機会となりました。



新発田

新発田支部では、平成30年7月14日に支部集会及び三職種合同講演会を開催いたしました。「地域包括推進にどう取り組むか！」と題して、高齢者総合ケアセンターこぶし園施設長の吉井靖子氏から講演を頂きました。

介護付きの地域社会、道路が廊下で自宅が居室の地域社会が一つの施設という発想で、誰もが住み慣れた地域社会で暮らし続けられるような取り組みの実現に感動致しました。

新発田支部長 野田 和子



県央

県央支部では平成30年6月23日に支部集会と特別講演を開催いたしました。講演会には「より良い関係づくりのためのコミュニケーション術」と題して、新潟お笑い集団NAMARAの高橋なんぐ様をお招きしました。体験やお笑いを交えた講演は参加者からは面白かったという意見が聞かれ、普段私達が何気なく発している言動を改めて考えてみる良い機会となりました。笑いは大事ですね。一つ一つの出会いを大切にしていきましょう。



県央支部長 番場 淳子

長岡支部長 鈴木美智子

長岡支部では、H30年度支部集会に、「みんなの言葉は生きている」をテーマにフリーANAウンサーの伊勢みづほ様をお迎えし、特別講演会を開催いたしました。今回は、地域の開業医にも案内を出し、支部活動を知つてもらうこととしました。



また、地域のイベント「糖尿病を知るつどい」「すこやかともしびまつり」にも毎年参加し健康チェックを実施しています。

そして、今年度は長岡圏域看護部長会と連携を取り、研修会「食べる事の大切さ、あきらめない看護part 2」を開催する予定です。

うおぬま

うおぬま支部では、6月30日「命との向き合い～グリーフケアを通して生きた証を考える～」をテーマに株式会社「桜」代表・復元納棺師・笹原留似子氏の講演会を開催しました。

103名中一般住民25名と興味を持って参加した方が多く、「心に残る言葉がたくさんあって勇気をもらった」等の意見もあり、グリーフケアを通して家族の心のケアにもつながることを学ぶことができました。実際にメーカーの実践もあり、質問も多く盛り上りました。

うおぬま支部長 今井みゆき



十日町

十日町支部は、十日町市と津南町からなる越後妻有地域の会員数393名の小さな支部です。今年は3年に1度の現代アートの祭典、「大地の芸術祭」が開催され、多数の来場者で賑わいました。そんな十日町支部でも、超高齢化、急激な病床数削減、医療や介護者的人材不足など課題が山積しています。

住民が熱望した看護学校が平成32年に開校するという嬉しいニュースもありますが、何れにせよ各施設との連携をより一層強めていかなければいけないと思います。交流を図り、少しでも地域の力になれるよう活動を進めていきます。



〈大地の芸術祭作品〉

十日町支部長 根津 綾子

柏崎

柏崎支部では、年間を通じ様々な活動をしています。今年度は7月に新人看護師を対象にフラワーアレンジメントを実施しました。また、市で企画されたお仕事体験塾に参加させ

ていただき、聴診や手洗い指導などを小学生に体験してもらいました。他にも研修や茶話会を企画し、非会員の方にも自発的に参加していただけけるような活動を行っています。

柏崎支部長 西澤 幸宏



上越

上越支部は、上越・妙高・糸魚川の3市で構成された広域の支部です。6月2日に通常集会を開催し、講演会は久留米大学医学部教授山岸昌一先生より「老けないための食養生」というテーマで行いました。大勢の市民の方々にも参加していただき大盛況でした。また、9月8日には入職後1から3年目を対象に上越地域看護師仲間づくり研修会を行い、お互いの気持ちや情報を共有できる時間となりました。今年度もご支援ご協力お願いします。

上越支部長 浅野 広美



佐渡



佐渡は医療・介護・福祉サービスの従事者の要員を確保できずに高齢化が進み、サービス需給の低下が予想され、持続可能な体制の構築のために3月に佐渡医療介護福祉提供推進協議会が設立されました。8つの部会が形成され、佐渡支部も設立趣旨に賛同し、その中の学習研修部会に看護協会は属しました。島内共通の看護職研鑽プログラムの作成の検討を進めています。協議会では多職種の方と話し合いもでき、課題達成に向けて佐渡全体で取り組んでいます。

佐渡支部長 加藤由美子

新潟東

東支部では、平成30年6月29日に通常集会を開催いたしました。講演会では、「主体性を引き出す会話力～チームメンバーと患者さん間において～」というテーマで、フランクリン・コヴィージャパン特別プログラム認定講師及び(財)生涯学習開発財団認定コーチの鈴木孝氏から講演をしていただきました。参加者からは、「新人育成に、今回のコーチングを活かしていきたい」等好評でした。12月14日には「なぜ“院内暴力”は起きるのか」をテーマに講演会を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

今後も、支部役員一同力を合わせて活動していきたいと思っています。ご支援ご協力お願いいたします。

新潟東支部長 佐藤 友子



新潟西



この度委員として、はじめて通常集会に参加させて頂きました。集会の裏方役割を体験でき、役員一丸となって協力し合えたこと、又議長として参加されている皆様を拝見し、多くの方々の協力で集会が成り立っていることの素晴らしさを実感できました。

大西先生の講演も大盛況で、会場も笑いに包まれる場面もありました。

委員という貴重な経験をさせて頂いたことに感謝しつつ、残り1年の任期を精一杯全うし、後任の方に引き継いでいく所存です。

新潟西支部長 古俣ひろみ

地域包括ケア

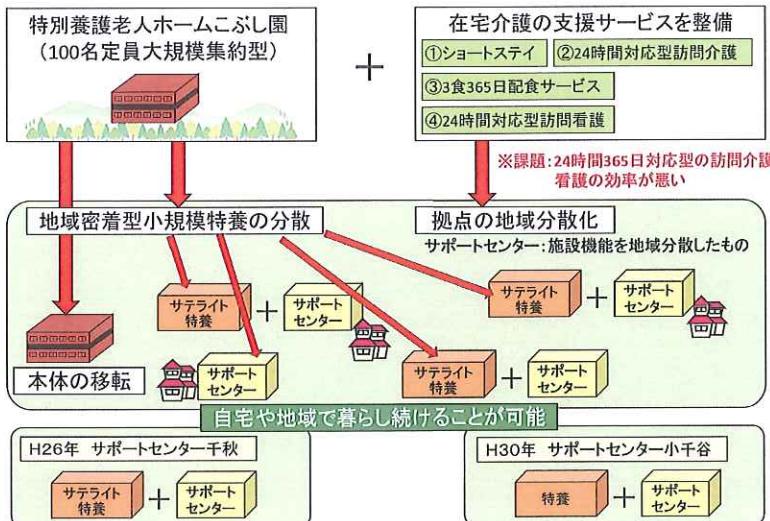
地域包括ケアの取り組みについて

高齢者総合ケアセンター こぶし園 吉井 靖子
総合施設長

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目指す地域包括ケアシステムの構築が推進されています。地域包括ケアシステムとは「ニーズに応じた住宅が提供されていることを基本とした上で、生活上の安全・安心・健康を確保するために様々な生活支援サービスが日常生活の場で適切に提供できるような地域での体制」と定義されています。最近では高齢者に加えて障害者・子ども・引きこもり等、それぞれの異なる課題を抱える人も含めた支援体制として地域包括ケアシステムも深化し「地域共生社会の実現」に向けて推進されています。要は誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるように、それを支えて行くことです。

私ども高齢者総合ケアセンターこぶし園は、昭和57年開設当初より、住み慣れた地域社会で暮らすことを可能にするための取り組みを行ってきました。それは施設機能を地域に展開する「サポートセンター構想」を創設し、施設を利用しなくとも、施設同様な介護のフルタイム・フルサービスをご自宅や地域で受けられるよう、地域で暮らし続けることを支える仕組みです。もちろんそこには3食365日の食事の提供やバリアーフリーの住まい等も整備してきました。一方、地域性のない郊外の大規模な集約型の特別養護老人ホームを地域へ分散して、100名の利用者を元々暮らしていた地域へ移り住んでいただく地域生活支援への移行の取り組みも行いました。平成26年に100名全員の方をそれぞれ15名から20名単位の小規模なサテライト特養に移行することができ特養ホームの分散を完了することが出来ました。以上の取り組みにより自宅や地域で暮らし続けることを可能としました。地域で暮らすと言うことは、このように住まいを前提に食事・介護が連続的にあることを前提として、次には痛みや不安を解消する医療は不可欠ですので安心を守る体制が必要となります。医療との連携については、当園においても今後より取り組んでいくべき大きな課題の一つでありICTの活用を進めてきた現状です。平成15年からは、スタッフと結ぶテレビ電話を開発し施設のナースコール同様の在宅版安心コールです。そして平成23年からは関係者を結ぶタブレットを開発、加えて平成24年には「在宅医療連携拠点事業」の採択を機会に以後地域を結ぶタブレットとして活用拡大を図り現在は、長岡市の多職種連携の為の情報共有ツールとして進化し「長岡フェニックスネット」として活用されています。この長岡フェニックスネットは地域で暮らす高齢者の安心を保障してくれるツールの一つでもあると思います。以上のように長岡市はそれらの関係団体などが連携を図りながら、情報を共有し意識を共有しながら2025年に向け地域包括ケアシステムの推進、地域共生社会の実現に努力し比較的進んでいる市町村の一つではないかと思います。

高齢者総合ケアセンターこぶし園の概要



地域包括ケアの推進に向けた多職種連携の取り組み

長岡市福祉保健部
長寿はつらつ課 課長 横山 幸信

地域包括ケアの推進に向けた、当市の多職種連携の取り組みを2つ紹介します。

1つ目は、多職種の連携に欠かせない情報共有の取り組み、「フェニックスネット」です。



(地域別多職種交流会)

ICTを活用して、同意を得た患者（利用者）の医療・介護情報を関係者間で共有する仕組みで、現在、医療機関、薬局、看護・介護事業所など約170機関が参加し、多職種が連携しながら、日常の適切な治療やケアに活用しています。また、緊急時には救急隊がタブレットで情報を確認し、迅速な救急搬送に役立てています。

2つ目は、地域包括支援センターのエリアごとに開催している「地域別多職種交流会」です。

地域レベル・現場レベルでの多職種の連携を進めるため、地域包括支援センターが中心となり、地域の実情に合わせて、様々なテーマ・内容で開催しています。平成29年度は計17回、延べ1,000人を超える医療・介護・福祉等の関係者から参加いただき、“顔の見える関係づくり”に取り組んでおり、年々その輪が広がっています。

地域包括ケア推進に向けて～ボウリングで交流～

長岡市訪問看護ステーション協議会 会長
医療法人誠心会 吉田病院長町訪問看護ステーション 所長 大野 真理子

長岡市訪問看護ステーション協議会は、平成28年に発足し現在サテライトを含む13の事業所が参加しています。定例会は年3回あり、訪問看護事業所の他に、長岡市長寿はつらつ課と長岡市医師会の事務局も参加しています。協議会では、昨年から長寿はつらつ課と医師会のご協力を得て、ボウリング大会を開催しています。昨年と今年は診療所の先生方を招待しました。大会後の懇親会では、順位発表と賞品授与を行い大変盛り上がりました。また、日ごろの業務時間内にはできない「仕事上のお悩み相談」も、交流を交えながら行えるため非常に有意義な会になっています。今後もこの大会を継続し、地域を支える他の職種も招待したいと考えています。そして、この大会から生まれる新たな交流が、長岡地域の在宅療養者を支える多職種のチーム力になるように、これからも活動していくたいと思います。





高校生1日看護師体験

参 加 人 数 1,045名(内男子69名) 86校

受 入 施 設 110施設

実 施 期 間 平成30年7月26日～8月24日

●平成30年3月卒業の参加者の進学先

調査日:平成30年7月

参加者数 (3年生のみ)	看護系大学 ・短大	看護専門 学校	看護系以外の 医療系	その他
453名	120名 (26.5%)	264名 (58.3%)	26名 (5.7%)	42名 (9.3%)

※データが残っていないとの回答…1校あり(参加者1名)



「ちょっと怖かったです」
初めてのストレッチャーにドキドキ☆



「大学院で学んでみませんか」～働きながら学べる県内看護系大学院の紹介～

大学名	専門領域	CNS コース	課 程	社会人を応援する 履修形態	取得学位、その他	受験科目
新潟大学大学院	○前期 基礎看護学 地域看護学 国際看護学 成人・老年看護学 がん看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 遺伝看護学 ○後期 小児・女性看護学 地域・国際看護学 成人・老年看護学	慢性看護 がん看護 地域看護 遺伝看護 母性看護	前期課程 あり 後期課程 あり	○昼夜開講制(授業 は平日夜間、ある いは土曜日等に集 中等の配慮) ○長期履修制度(社 会人、育児、介護中 など、長期に履修 が必要な者に、前 期課程最大4年、後 期課程最大5年)	○前期課程:修士(保健学)の学位 ○後期課程:博士(保健学)の学位 <その他> ・前期課程では、養護教諭専修免許 取得可能 ・がん看護CNS、遺伝看護CNSにつ いては、東北がんプロフェッショ ナル提供のEラーニングの受講可 能 ・遠方で参加が難しい場合には、一 部のゼミナール科目においてスカ イプによる遠隔授業(ゼミナール) を導入しているところもある。	○前期課程 社会人:学力検 査(小論文、専門 科目)、面接等 一般入試は省略 ○後期課程 社会人:学力検 査(小論文、面 接・口頭試問)等 一般入試は省略
新潟青陵大学大学院	成人看護学 看護管理学 母子看護学 ※専修免許 取得のた めの養護 教諭課程 あり		前期課程 あり 後期課程 なし	○授業は主に平日夜 間(6時限18:20 ～、7時限20:00 ～)および土曜日 昼間および集中講 義 ○長期履修学生制度 あり (3または4年間で 計画的に講義や研 究指導を受けるこ とが可能)	○修士(看護学) <その他> ・入学金が免除となる奨学金制度あ り ・教育訓練給付金制度あり ・ノートパソコン無償貸与 ・院生の研究活動支援(学会ゼミ参 加費等) ・看護管理学分野は(条件により)認定 看護管理者の認定審査を受験可能 ・看護短期大学、看護専門学校の卒 業生で保健師、助産師、看護師のい ずれかの免許証を有している場 合、「出願資格認定審査」により出 願が可能	<方法> 一般選考・社会 人特別選考 <科目等> ・小論文 ・面接 ・英語* *英語は一般選 考のみ(英和辞 書1冊持ち込 み可、電子辞 書は不可)
新潟医療福祉大学大学院	小児看護学 高齢者看護学、 精神看護学、 ウイメンズヘル ス看護学 慢性病看護学、 がん看護学、コ ミュニティケア、看護管理学	がん看護	前期課程 あり 後期課程 あり	○授業は主に平日夜 間(夜間の授業は6 時限18:10～、7時 限19:50～)と土曜 日昼間および集中 講義 ○長期履修制度あり	○修士名:健康科学 ○博士名:保健学 <その他> ・遠隔授業、オンデマンド授業は一 部あり ・学費減免制度あり(修士課程)	○小論文試験、面 接試験の結果お よび出願書類を 総合評価
新潟県立看護大学大学院	●前期 看護管理学 基礎看護学 母性看護学 小児看護学 成人看護学 がん看護学 老年看護学 精神看護学 地域看護学 ●後期 看護教育学 看護管理学 成人・がん看護学 母子看護学 老年看護学 精神看護学 地域・在宅看護学	がん看護 老年看護	前期課程 あり 後期課程 あり	授業は原則的に毎 週火曜日昼間と夜間 (VI限17:50～、VII時 限19:30～)、土曜日 に集中的に開講。 また、専門科目は 勤務の都合により火 曜日、土曜日の出席 が困難な場合は、指 導教員と相談の上、 調整もあり得る。 なお、標準年限で の修了が困難な場合 は長期履修制度の利 用が可能。	○前期課程 ・修士(看護学) ・長期履修制度により前期課程は3 年で計画的に履修することが可能 ○後期課程 ・博士(看護学) ・長期履修制度により後期課程は最 長6年で計画的に履修することが 可能	○前期課程 ①英語 ②看護専門科目 ③面接 英和辞典1冊の 持込可(電子辞 書は不可) ○後期課程 ①学力検査 (英語) ②面接 (口述試験) 英和辞典1冊の 持込可(電子辞 書は不可)

ナースセンターからのお知らせ

看護師等の届出制度

看護師等の届出サイト

とどけるん

「とどけるん」をご存知ですか？「また、いつか働きたい！」をサポートするシステムです。離職中の看護師等の皆さん、まずは届出をして下さい。

届出制度について3年間のまとめ 新潟県の状況(平成30年8月31日現在)

○届出数：1,466名（中央ナースセンター集計）



医療圏域別登録者（人）

佐渡 15 不明 31

下越

105

上越 193

魚沼 70

中越 315

県央 91

総数
1,466人

新潟
680



～～届出をきっかけに、再就職しました～～

新潟市西区 はせがわクリニック 松原 亜衣

現在2歳と5歳の子供の育児をしながら、クリニックで勤務をしています。以前は、東京の大学病院で病棟勤務をしていましたが、主人の仕事の都合で退職し、海外を含め各地を転々とした後、去年新潟に越してきました。

下の子供が幼稚園に通い始めたことをきっかけに仕事復帰を決意。3年間のブランクと慣れない土地で手探り状態でしたが、ふと参加したハローワークでの再就職支援相談会で届出登録をしました。その後ナースセンターから看護職員再就職セミナーの案内を受け、3日間コースに参加しました。訪問看護、フィジカルアセスメント、認知症、特別養護老人ホーム、メンタルヘルス等の内容を集中して学べる機会を得て、再就職への自信にもなり、とても貴重な時間でした。

再就職にあたり何ヶ所か職場見学をしました。子供が幼稚園に通っている午前中を勤務時間の条件としたところ、私の希望とマッチングせず悩みましたが、担当の方は、諦めず私の希望に近い職場を探してくれ現在の職場で勤務することになりました。

はせがわクリニックは、リウマチを専門とする内科のクリニックです。スタッフの皆さんには親切で優しく、暖かく迎えてくださいました。専門性の高い先生のもとにはリウマチで悩む患者さんや、地域の方が治療に来ています。実は私の亡き祖母もリウマチを患っていたので個人的には特別な感情があります。また、新天地でこうして地域医療に携わることができ日々感謝をしています。



届出制度について



Q1. どういう人が届けるの？

A. 保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を持ちながらその仕事をされていない方です。

Q2. どうして届け出なければならないの？

A. 潜在看護職員をふくめた離職中の看護師等の復職支援をし、看護職員の人材確保を進めるためです。

Q3. 届け出たらどうなるの？

A. 離職後もナースセンターと一定のつながりを確保し、本人の意向やライフサイクルなどを踏まえて情報提供等の支援を行います。

*就業中になっている方にはご案内はありません。

新潟県ナースセンター Tel025-233-6011

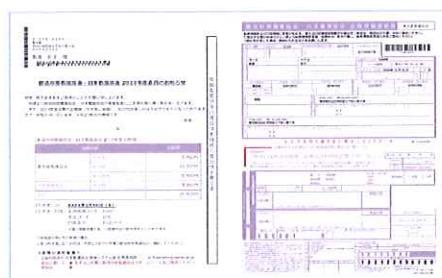
新潟県からの委託を受け開設している、看護職員のための無料職業紹介です。

新潟県ナースセンターは、離職された看護職の方とつながりをもち、届け出された方のニーズに合わせて就職相談や再就職のための講習会、ガイダンスの案内など、きめ細やかな支援を行います。再就職を考えている方がいらっしゃいましたら、お近くのナースセンターまで、ご連絡をお待ちしています。

「ナースシップ」よりお知らせ

日本看護協会から「2019年度 継続のお知らせ」が発送されました！

※大切なお知らせですので、必ずご確認ください。



※2018年度の会員さまは2019年度も自動継続になります。

登録内容に変更がない方



提出不要です。

登録内容に変更がある方



- 施設で登録の会員の方は、変更箇所を訂正欄にご記入の上、個別の返信用封筒に入れ、施設の会員代表者様へお渡しください。
- 個人会員の方は、返信用封筒に入れ、郵送してください。

次年度継続を希望しない方 ⇒ 退会届を提出してください。

退会届は新潟県看護協会HPよりダウンロードできます。

PCを利用できない方は新潟県看護協会へご連絡ください。退会届をお送り致します。

お電話での退会は受付できません。必ず退会届を提出してください。

注) 会費の納入方法が口座振替の方は、2018年12月20日までに退会届の提出をお願いします。

退会届の提出がないと、2019年1月28日に会費が登録口座より引き落しとなります。

＊キャリナースにご登録ください！

キャリナースに登録すると、

- 会員情報の確認や変更をすることができます。
- 資料室をご利用いただけます。
- 研修会受講履歴の確認や証明書の発行も可能です。
- スマートフォンで電子会員証を表示することができます。



お知らせコーナー

平成30年度 公益社団法人新潟県看護協会 緩和ケア認定看護師 フォローアップ研修

日 時：2019年3月20日（水）9：30～16：30

場 所：新潟県看護研修センター 3階 大研修室

講 師：永井 瞳子 独協医科大学 SD センター特任准教授
認知症看護認定看護師教育課程主任教員

認定資格更新6ポイント取得できます。

～詳細は新潟県看護協会HPを12月下旬頃にアップします。～

2019年度 ファーストレベル・セカンドレベル募集期間

認定看護管理教育課程 募集期間について

○セカンドレベル募集期間 2019年2月中旬～3月中旬

○ファーストレベル募集期間 2019年3月初旬～4月中旬

※詳細につきましてはHP参照（12月下旬アップ予定）

2019年度 教育研修計画冊子の表紙の公募について

○標記冊子の表紙を公募しております。

①カラー写真：データ提出 ②ファイル形式：JPEG形式（データサイズは問いません）

○応募される方の所属・氏名を記入し、メールで送付ください。

①所属施設 ②氏 名 ③メール件名：研修計画冊子表紙データ（氏名）

○写真の説明 20文字程度 例）我が家の猫

○締 切 り 2019年1月18日（金）

○送り先メールアドレス

nkango@poppy.ocn.ne.jp

○採用者には粗品を贈呈いたします。

また、表紙には採用者の氏名のみ掲載させていただきます。（匿名不可）

○そ の 他

応募されたデータにつきましては返却いたしません。

※詳細についてはホームページを参照

《お詫びと訂正》

第136号で紹介致しました、カンゴサウルス賞を受賞された病院名に誤りがありました。

「社団法人 恩賜財団済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟第二病院」と記載致しましたが、正しくは

「社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟第二病院」の誤りでした。

お詫びして、訂正致します。

新刊 図書案内

No.	題 名	編 著 者	出 版 社
1	ナースが元気になる人事管理	竹中 君夫 [著]	日本看護協会出版会
2	看護師でいられて本当に幸せ	中島美津子	"
3	診療報酬・介護報酬のしくみと考え方 [第4版]	福井トシ子・齋藤 訓子 [編集]	"



協会事務局各部署の電話番号

総務課	電話 (025) 265-1225 / (025) 233-6550 FAX (025) 266-1199
ナースセンター課	電話 (025) 233-6011 FAX (025) 265-4188
訪問看護推進課	電話 (025) 265-4188 FAX (025) 233-7672
教育研修課	電話 (025) 265-1253 / (025) 265-1254 (025) 265-1256 / (025) 265-1343 (025) 265-1344 教育担当事務 FAX (025) 233-7672 / (025) 266-1199

編集後記

今年ももうすぐ終わりますね。新しい元号はになるのでしょうか。ドキドキしています。
徐々に寒くなってまいりますが、インフルエンザなどに気を付けてお過ごしください。

広報委員：北原、神田、竹山、馬場、榎、木本



新潟県看護協会会員数 平成30年11月10日現在

